

不況まただ中で、国、県の財政難は各種団体にも大きな影を落としております。その少ない予算を同じ目的のために各種団体がバラバラに事業を行っております。

「孫子の兵法」ではありませんが、少なくなった予算・人員をもっとも効果的実行をするには、各種団体が一つに集って不況という敵と戦うことが孫子の教える兵法であります。

しかし現況を見ますと各団体の事情、理解度、長い習慣、時には利権があつて分かってもらえない状況であります。

しかしここまで財政が窮乏してきますと、先程のように不況と言う巨大な敵と戦い勝つ方法は各種団体が情勢を理解・協力して一塊となつて突き進まなければ勝てないと私は思っています。

バラバラな散兵戦ではとても対応できるものではなく、ただ消耗するだけであります。

そこで、あえて提案を申し上げたいことは、地主さん・区画整理組合の方には都市開発、住宅地開発の過程で起こる商業地開発については、ぜひ商工会議所にも行政と一緒に参画をさせていただきたい。過去の開発を振り返って見ますと、土地所有者と地元経済界とのすり合わせが上手でなかったために、都市構成のバランスが悪くなり、隣接商店街が衰亡して、はては破産、廃業に追い込まれてしまうことが多くみられました。

その結果、破産地は競売等によって土地価格は何十分の一とも思われる暴落をし、その余波は新しい区画整理組合の資産価値まで連動し、大打撃を受けている実例が多く見られます。

しかし、君津市はこうした状況を未だ防ぐことが出来る可能性を持っております。

自分たちだけが生き残れるという時代ではなく、共に生きる時代、共に分け合い助け合う時代だと私は提案します。どうか関係者の方たちにはご共鳴をいただきたいものです。

※会頭コメントに対するご意見等は次のアドレスまでお寄せください。 kcci@kimitsucci.or.jp/